

アフガニスタンの自然災害の現況と課題



国際連合人間居住計画 (UN-Habitat)
アフガニスタン事務所

UN HABITAT

アフガニスタン基礎情報



Google map

土地: 652,225 km² (日本の1.7 倍)

人口: 3200万人 (2015)

人種: パシュトゥン (42%), タジク (27%),
ウズベク (9%) ハザラ (8%) (2004-2014)

一人当たりGDP: 666ドル/1,892ドル (2014)

実質GDP成長率: 2.5% (2015)

インフレ率: 5.0% (2015)

人間開発指数: 169番/187国 (2014)

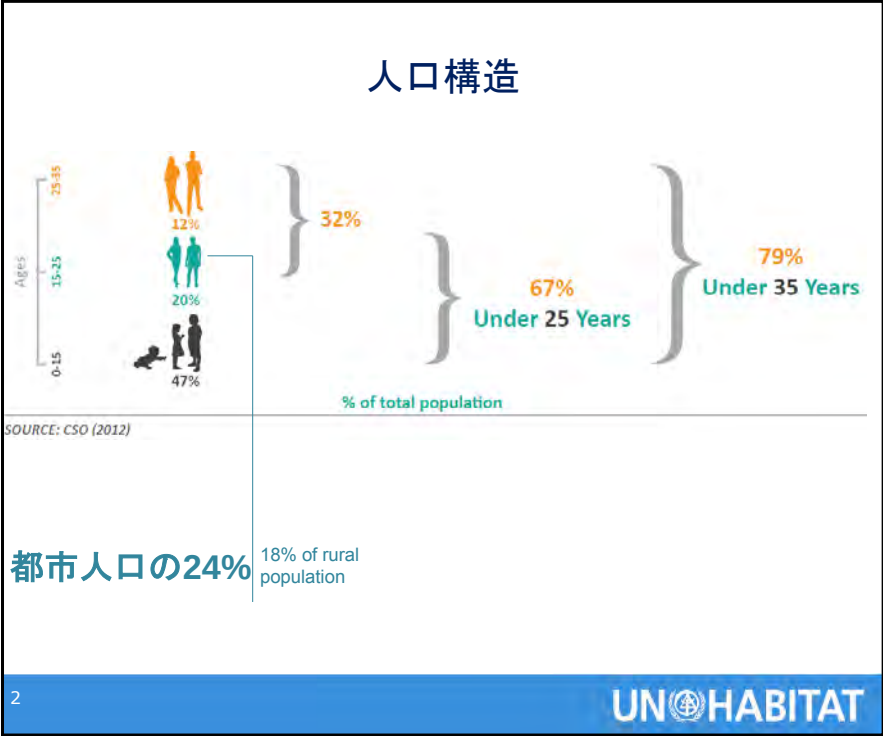
貧困率: 35.8% (2011-12)

識字率: 38% (2014)

平均余命(誕生時): 61 (2014)

乳児死亡率: 71人/1,000人辺り (2014)

世界銀行、国連開発計画、CIA



アフガニスタンの自然災害概況(2000-2015)

災害種類	死者数	被害者数	災害数
雪崩	613	6,476	7
突発的洪水	512	163,516	4
洪水	459	112,676	12
地震	212	133,838	4
嵐	84	5	2
地崩れ	76	1,500	2
厳冬	45	68	1
旱魃	0	1,750,000	1

EM-DAT、国連人道問題調整事務所

4

UN HABITAT



5

UN HABITAT

社会の強靱性強化に向けての課題

政策レベル

- 科学的な災害リスク評価
- 強靱性強化に向けた都市計画
- 建築基準制度の適用

非構造物施策

- 早期警報システム
- 防災教育
- コミュニティ防災

構造物対策

- 主要インフラの改善、構築（例：堤防の改善、隔壁設置、砂防ダム建設、橋梁の耐震性改善など）
- 建物の耐震性強化（住居、学校、診療所など）

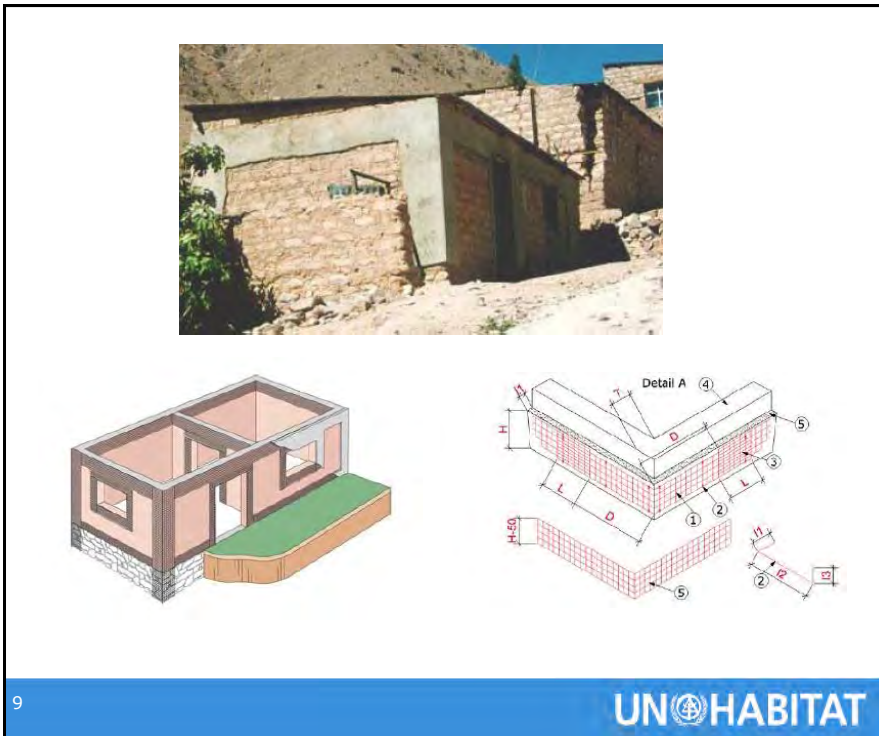
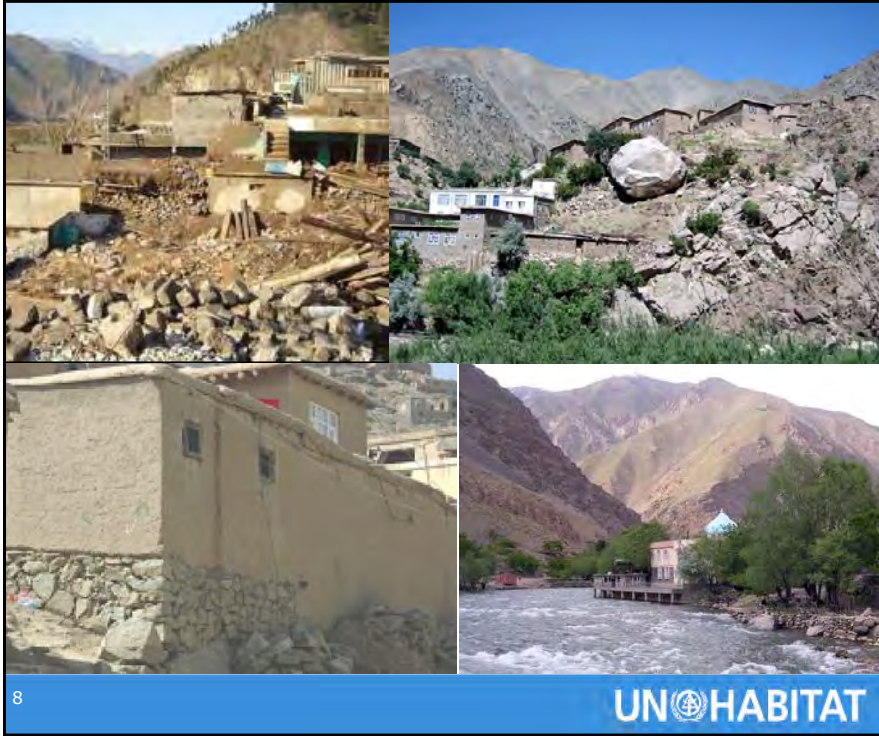
6

UN HABITAT



7

UN HABITAT



日本からの支援/協力の可能性

政策レベル:

- 都市防災計画の紹介(プロセス、内容等)
- 建築基準の執行、適応に向けた取組み、インセンティブ構造(住宅ローン減税など)の紹介

コミュニティレベル:

- コミュニティレベルの防災活動、防災技術の紹介(防災訓練、備蓄倉庫の管理、災害時に活用できるトイレの設置など)

技術:

- 適用可能技術(維持管理、文化・風土、入手可能な材料等)
 - 住居の耐震構造改善
 - 防災機器(例: バイオトイレ、太陽光発電機器、水浄化装置、小規模早期警戒システム機器など)